

# あだたら

A d a t a r a

題字 所長 筒井 昇  
Photo 坂と安達太良山

二本松青年海外協力隊訓練所 JICA二本松ニュースレター

2007年春号(通巻第3号)  
—季刊年4回発行—



## いわき市長(櫛田 一男 氏)ごあいさつ ...e



シリーズ連載 **せかいのくから「アルジェリア」** ...e

国際協力川柳—投稿特集**第3弾!** ...6

**福島出身の候補生** ...7

**教師海外研修募集開始!** ...8

### 「家畜受精卵移植技術」コース開始

西郷村の「家畜改良センター」で研修が始まりました。  
エジプト、ネパール、ニカラグア、パラグアイ、トルコなど世界8ヶ国からの研修員が学んでいます。

## いわき市長のあいさつ

# いわき市の国際交流



いわき市長  
榎田一男氏

当市は、1982年に中国・撫順市と友好都市を締結、1991年にオーストラリア・タウンズビル市と国際姉妹都市の締結を行い、それぞれ幅広い分野において交流を行っています。

特に、「小中学生書写交流撫順市訪問団派遣」、「中学校英語弁論大会優勝者のタウンズビル市派遣」、「タウンズビル市スピーチコンテスト優勝者の受け入れ」などを通し、国際化社会に対応できる人材の育成を図っています。

また、(財)いわき市国際交流協会と連携を図りながら、市民のための各種国際理解講座の開催や市内在住外国人のための日本語教室の開催、各種情報の提供などを行っており

ますが、今後におきましても、市民のより一層の国際理解、そして外国からいらした皆様が安心できる、暮らしやすいまちづくりを目指し、各種施策を推進してまいります。

いわき市長 榎田一男



▲ラグビーの親善試合(平成18年7月)  
いわき市高校選抜対タウンズビル市高校選抜

## 施設見学の『窓』

平成18年度は、JICA二本松のある二本松市内より小・中・高等学校11校が来所しました！

安達高等学校／二本松第一中学校／二本松第三中学校／安達中学校  
原瀬小学校／油井小学校／上川崎小学校／安達太良小学校  
二本松南小学校／小浜小学校／下川崎小学校



### 今回は、二本松南小学校の見学の様子を紹介します！

訓練所内見学を行い、開発教育(「もしも世界が100人の村だったら」など)を体験し、いざ、候補生と共に語学の授業体験を行いました。

さて、「これは何ですか?」ってクメール語でなんて言うのかな?

▼ラオ語(国名:ラオス) ホンマラ先生と二本松南小学校のみなさん



▲クメール語(国名:カンボジア) チョビー先生と二本松南小学校のみなさん

# せかいのくから [第6回]



## 私のふるさと —アルジェリア

アラビア語、フランス語 語学講師 ファリド



アルジェリア

### アルジェリア Data

面積：238万平方キロメートル  
(内、砂漠地帯約200万平方キロメートル) (アフリカ第2位)  
人口：3,306万人 (2005年、IMF)  
首都：アルジェ  
通貨：アルジェリア・ディナール (DZD)



私のふるさと、アルジェリアは北アフリカにあります。日本は日出ずる国と呼ばれますが、アルジェリアとその両隣のモロッコ、チュニジアの3国を総称して「マグレブ」、アラビア語で「日沈む国」と呼ばれています。アルベル・カミュの小説、「異邦人」の舞台であり、フランスのサッカー選手ジダンの故郷、食べ物では、クスクス料理が最近では日本のレストランでも人気ですね。まだ食べたことがない方は、是非一度食べてみて下さい。きっと好きになっていただける事でしょう。

アルジェリアは、日本の6.3倍の大きな国ですが、その約8割がサハラ砂漠で占められます。人口は約3千3百万人で、地中海沿岸側は温暖な気候に恵まれ、なつめやしやオリーブ、オレンジの生産が盛んです。サハラ砂漠にはあちらこちらに油田があり、原油と天然ガスはわが国の主な輸出品目となっています。

では次に、アルジェリアの歴史を簡単にご説明致します。古くはローマ帝国の支配下にあり、オスマン帝国の支配、そして1834年からのフランスによる植民地支配を経て、1954年にアルジェリア民族解放戦線 (FLN) が組織されました。そして1956年にはフランスとの独立戦争は都市部へ拡大し、それから過酷な戦いは7年4ヶ月に渡り続きます。1962年について独立を達成、132年間の植民地支配に終止符が打たれました。独立戦争については、映画「アルジェの戦い」(1966年) が公開され、日本でも広く知られたそうです。今でもDVDが発売されており、戦下のアルジェリアの過酷な様子を感じていただけたと思います。

その後、混乱の中で長期に渡る試行錯誤を続けながらも、徐々に治安は安定し始めてきています。そして、2000年以降はアルジェリアを訪れる観光客も徐々に増加の傾向にあります。ここ数年で、日本の旅行社のツアーも見つける事ができるようになり

ました。とても喜ばしい事です。アルジェリアにはタッシリ・ナジェールをはじめとするたくさんの素晴らしい遺跡が残っています。是非、皆さんにも訪れていただきたい所がたくさんあるのです。

サハラ砂漠の真ん中、キノコのような形の岩が林立するタッシリ・ナジェールには、大昔の素晴らしい岩壁画が数多く残っています。かつてのサハラがサバンナであり、キリンやライオンや象などの野生動物が暮らしていた事を生き生きと語る古代岩壁画は、1万年前のものから数百万年前のものまで約1万5千点もあります。

▶首都アルジェの港



また、首都アルジェでは映画「望郷」の舞台カスバの町並みを、郊外の地中海に面した町ティパサや、そこから西に27km程の町シェルシェルでは、ギリシア時代、ローマ時代の遺跡を見る事が出来ます。劇場跡やモザイクの残る教会跡、円形闘技場、謎に包まれたモーリタニア王家の墓などがあります。

そして、これも世界遺産のひとつである、ジェミラのローマ遺跡をご紹介します。ジェミラはアルジェから東へ400キロほどの山奥にあります。ジェミラ (美しい) の名前の通り、アルジェリアで一番美しいといわれるこの遺跡は、古来はクイクルと呼ばれたローマ軍の城壁でした。そして1世紀にローマの殖民都市となりました。周囲を山に囲まれ、交通の不便な所にあっ

たおかげで今でも保存状態が特に良いのです。ここでも神殿やフォーラム、バジリカや凱旋門や劇場跡、住居跡などをみていただけます。ローマ時代の数々の遺跡を前に、当時の栄華をしのぶことができますでしょう。

最後に、北東部に位置するアルジェリア第3の都市、コンスタンティーヌをご紹介します。コンスタンティーヌは、地中海から80kmほど離れた標高600mあまりの高地にあります。町にはシンボルとも言える、白く輝く、Emir Abdel kaderモスクがあります。モスクと大学を兼ねた施設で、そのあまりの美しさに実際にご覧になると言葉を失ってしまうでしょう。こ

の渓谷の町では、あちらこちらで数々の橋が見られ、その中でもシディムシッドの吊り橋は、思わずぞっとするような高さにあり、渡り始めるのには少し勇気がいるかもしれません。橋の幅は約6メートル、長さ160メートル、高さは何と175メートルです。考えただけでも足がすくんでしまうと思います。ですが、勿論しっかりとした橋です。ので全くご心配はいりません。

どうですか? 少しでもアルジェリアに行ってみたいと思われたでしょうか。きっと、これから日本からのお客様もどんどん増えるでしょう。皆さんにアルジェリアに行ってみたいと思っていただけたなら、私もとても幸せです。是非、皆さんアルジェリアにお越し下さい。

次回予告 アルバニア語学講師 サフワン先生 …シリアの話をどうぞお楽しみに!!



## World Quiz ワールドクイズ

Q アルジェリアの大部分はサハラ砂漠ですが、北部には何山脈が走っているのでしょうか?  
①アトラス ②ヒマラヤ ③アンデス

答えは①ページに



◆所長イラスト：青年海外協力隊 平成18年度1次隊 廣瀬智子さん



**二**本松青年海外協力隊訓練所は、全国に18ヶ所あるJICAの国内機関のひとつで、県内におけるJICA事業の拠点でもあります。訓練所ですので事業の中心は青年海外協力隊員やシニア海外ボランティアの訓練ですが、そのほかにも技術研修員の受入れ事業や草の根技術協力事業、市民参加協力事業などがあります。

**市**民参加協力事業の中で、市民の人気が高いのは国際協力出前講座と施設見学です。出前講座とは協力隊員の社会還元の一環として、出前講座の趣旨を十分理解し講師派遣を依頼してきた学校や市民団体等に対し、JICAが帰国隊員や職員を派遣するものです。講師は講座に参加した生徒や市民に対し、開発途上国の実情や自らのボランティア体験等を報告し、国際協力や途上国についての理解を深めてもらいます。最近では、「総合的な学習の時間」として出前講座を利用する小・中学校が増えていることもあり、平成18年度は63件、4,557人が受講しています。

**施**設見学については、地元二本松市だけではなく、県内外からもバスで訓練所にくる団体が増えています。18年度は159件で2,441人の見学者がおりました。彼らの多くは途上国の民芸品や衣装等の展示室や訓練施設を見学し、国際協力の一端を肌で感じて帰ります。なぜJICAがこんなことをするのかということ、国際協力の必要性を市民に理解していただく、JICA事業への支持層を拡大する、途上国の開発の担い手を増やすなどの目的があるからです。

**一**方、県内の市町村には30の国際交流協会があり、友好姉妹都市の受け皿としての国際交流事業や語学講座などの外国人支援事業・多文化共生事業等を行っています。こうした団体を含め県内には150以上のNGOがありますが、一般的に規模が

小さく、国際交流的な活動が中心となっています。国際協力活動を実践しているNGOもあるのですが、主に開発途上国をフィールドとしているJICAと連携できる団体は数えるほどしかありません。

**こ**のような状況の中でJICAは、国際交流・協力団体「ふくしま地球市民ネットワーク」や「福島県国際理解教育ネットワーク」と連携し、各種セミナーやイベントの開催を通じて情報の共有化を図り、地域の国際化を推進していく手助けをしたいと考えています。その手始めとして、広報面でこれらの団体と連携・協力を進め、市民にODAを身近な存在として関心を持ってもらい、国際協力への参加を促進していただきたいと考えています。

**幸**いJICAには、協力隊員等のボランティアのための訓練施設や豊富な開発途上国の情報があります。また、帰国した隊員や専門家のネットワークや訓練所の外国人語学講師、海外からの技術研修員等の人的リソースがあります。こうした人的リソースを活用して、国際協力だけではなく国際交流や地域の国際化に貢献できるのではないかと考えています。

**最**後に、JICA二本松としては「地域の国際化はまず地元から」を合言葉に、地元の関係機関・団体と連携し地道に国際化の活動を続けていき、次第に県内各地に広げていきたいと考えています。



▲平成19年度1次隊 入所式の様子

**JICAデスク** —徒然なるままに…

ドイツ環境レポート『環境先進国は政策先進国!?』

環境問題が盛んに話題になっていますが、みなさんも‘エコな生活’していますか？

今回は環境先進国と言われるドイツへ視察に行っていました。(プライベート旅行です!)そこで、ドイツ交通システムから見る環境最先端の取り組みをご紹介します。

今回訪れたのは南ドイツのフライブルクとハイデルベルク。

街中には、トラム(路面電車)が網の目の如く走り、自転車を利用する人たちがたくさん。また注目すべきはカーシェアリングという車のシェアリング制度と、パーク&ライド(車を置いて、トラムに乗ろう)。これらはすべて環境政策のもとに成り立っているものです。



▲カーシェアリングの車。会員であれば簡単に利用できます。

しかもドイツでも戦後復興で60年代には1人1台車を持ち、まさに車社会だったというのですから驚きです。とても今の街の様子からは想像がつかません。と言ってもドイ

ツ人が車を手放したわけではないのですよね。いくら‘環境’に優しくても不便な生活を強いられるなら…市民の賛同は得られません。

そこでこの3つのキーワード。トラムと自転車とカーシェアリング。人の移動手段を確実に確保しながらも環境に優しい。まずは街を郊外型ではなく、中心地にもってくる。そこにトラムを敷き、人も動物も自転車も乗り降り自由(乗車券を各自買って乗り込みますが改札はありません)。トラムの始発駅や途中途中の駅には駐車場とカーシェアリングの車を整備。それらは、すべて当たり前前の如くバリアフリーです。高い自動車税を払ってまで自家用車を持つよりは、大きな買い物をする時にだけカーシェアリングを利用しよう、普段の生活は自転車・トラムで、など、市民に便利な工夫がいっぱい



▲何車線? 奥からトラム、車道、自転車道、歩道

なのです。お陰で街には人の活気で溢れ、車椅子の人も、ベビーカーのお母さんも、お年よりも、犬も、子どもから大人までの移動がとてもスムーズなのです。



私たちが1人が1台車を持たないと、移動ができない車社会。

環境政策・福祉政策・街づくり政策(経済政策)と相まって、実現しているドイツの社会作りはまさに、持続可能な発展のための政策といえるのではないのでしょうか。



▲トラムの路線には緑化も

国際協力や NGO のご相談は…

JICA と福島県の連携促進など、各種ご相談を「国際協力推進員」が承ります。ご連絡は下記までお願いします。

財福島県国際交流協会 JICA デスク 橋本千賀子 TEL: 024-524-1315 / FAX: 024-521-8308 / URL: <http://www.worldvillage.org/>

所外活動

所外活動先: 武藤園芸

心に残るエピソード

候補生の訓練には、所外活動といって異分野体験(職種と異なる分野)を重視する訓練があります。

二本松近郊の福祉施設や農家など様々な受け入れ先があります。

皆で手を動かして農作業を手伝うのが楽しいね!  
こんな小さな苗がやがて秋には花を咲かせるんだね。  
我々候補生も2年後に任国で各自の花を咲かせるぞ!  
今日一日は語学学習も忘れて福島県での会話を楽しみました。



▲平成19年度1次隊 候補生の活動の様子

## 国際協力川柳

### ◆お題1「予算減る」

(国際協力というよりODA川柳と思いつく)

予算減る されど熱意は減りはせぬ  
 予算減る 近頃はやりのあいさつ辞  
 予算減り 代りに増える 愚痴不満



### ◆お題2「安達太良」

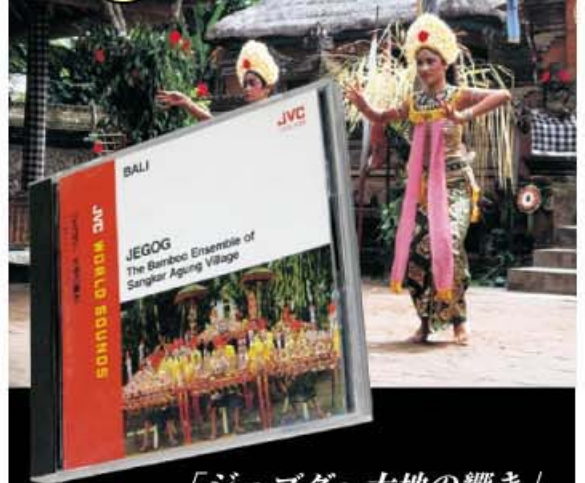
安達太良の 山腹から見る 世界かな

(相尾 駄陸)

※今回も県内帰国専門家OBの方から特集第3弾として紹介させていただきました。読者のみなさまもぜひ、現在の心境など浮かんだ句をお送り下さい。掲載された方には粗品をプレゼントします！お名前、連絡先などを必ず明記しファックス、又は電子メールでご応募ください。お待ちしております。

## CD-Review

# CDレビュー



### 「ジェゴグ～大地の響き」

バリ島の音楽といえば瞑想的な銅製のガムランを思い浮かべますが、この「ジェゴグ」では「竹のガムラン」とも呼ばれる16ビートの激しい音楽を聴くことができます。日本ビクターによる、いつもながらの詳しい解説も付いているので、スハルト大統領も愛したこの「ジェゴグ」を是非ご堪能ください。

(発売元：ビクター)

## 良書倶楽部

We recommend that you read this book...



春号お薦めの本!!

「ユニセフ・カンボジア事務所で働く～  
 国連若手職員の3年間～」  
 藤原幸恵著 明石書店 (2006/11) 2,000円 (税込)

### 一筆者のことば

1999年11月から2002年11月までの3年間、ユニセフのカンボジア事務所で国連若手職員 (JPO) として働いていた経験をまとめた1冊です。

## 二本松の素敵なレストラン レストラン 「未来」



「福島県男女共生センター」にある静かなレストランで、正面に「霞ヶ城公園」を臨む全面採光の明るい店内が魅力です。

共生センターには図書館、会議室のほか宿泊施設もあり、格安料金で利用が可能なところ、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

住所：福島県二本松市郭内 1-196-1  
 (二本松駅から車で約5分)

※このページの地図をご参照下さい。

## ひとの動き

### 新任



1月1日  
 福永 敬  
 業務チーム長



3月1日  
 小島 陽子  
 派遣社員



5月1日  
 柴崎 茂  
 進路相談カウンセラー

### 退任



2月28日  
 佐藤亜由実  
 派遣社員



3月31日  
 渡邊 恭子  
 市民参加協力調整員  
 (解嘱)



3月31日  
 渡部 憲治  
 進路相談カウンセラー  
 (解嘱)

# 福島出身の候補生

平成19年度1次隊（二本松青年海外協力隊訓練所）

187名の候補生が入所しました。

世界中の人々に、ほんとうの愛を送りたい・・・



三本松 未緒

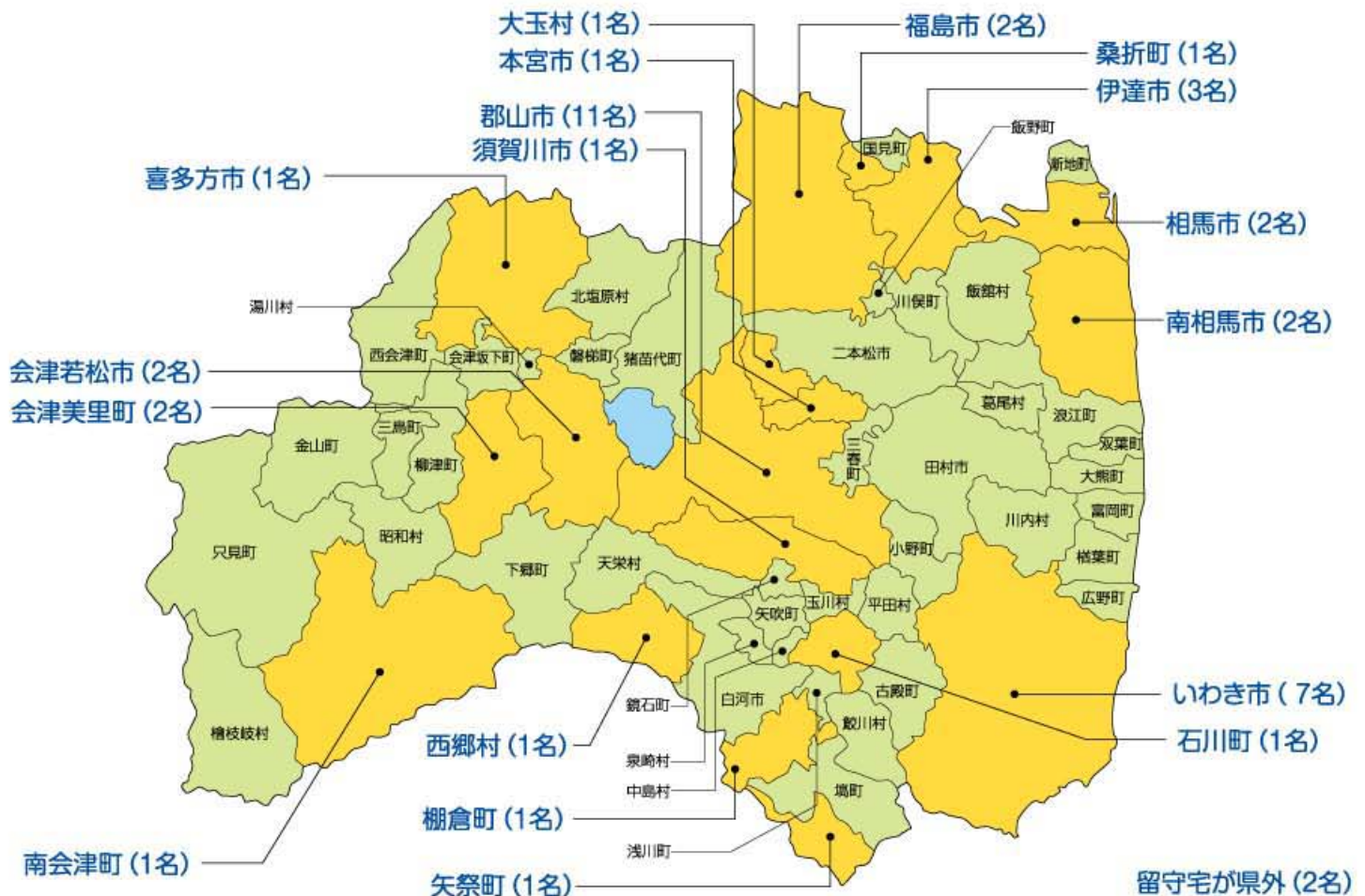
(出身地：いわき市、派遣予定国：シリア、  
職種：幼児教育)

私は学生の頃から異文化への興味が強く、東南アジアや中近東など、さまざまな国を訪れてきました。きれいな風景、珍しい食べ物、人との出会い、どれも素敵でしたが、特に印象に残っているのはキラキラした子どもたちの笑顔です。そんな中で、貧しさゆえに学校に通うことができなかつたり、商売をして家計を助けていたり、子どもらしくない環境の中で生活している子どもたちと多く出会いました。そんな子どもたちの力になりたいと思い、保育士としての社会経験を積んだ後、協力隊に応募し、現在候補生として訓練を受けています。

派遣国のシリアでは、保育園で現地保育士の意識改革と、乳児保育の向上に努めます。また、協力隊員同士で協力し合い、現地保育士を対象とした保育・幼稚園教諭講座の企画・運営を行う予定です。シリアで、1人でも多くの子どもたちの笑顔が見られることを目標にしています。私も、子どもたちに負けないように、毎日元気に笑顔で活動していきたいです。

## 福島県出身JICA ボランティア 2007.4.11現在派遣中

合計43名【JOCV(短舎)、SV(短舎)、日系青年、日系シニア、調整員】



# 5月～7月のイベント情報

5月 9日(水)	平成19年春募集「体験談及び説明会」協力隊・シニア(於：郡山市民プラザ)
5月11日(金)	青年海外協力隊募集 パネル展示 ～4/13(金)より(於：男女共生センター)
5月13日(日)	平成19年春募集「体験談及び説明会」協力隊のみ(於：コラッセふくしま)
5月21日(月)	平成19年度教師海外研修募集 JICA二本松必着日 ←下にポスター
5月23日(水)	牛人工授精普及システムコース 研修員来日
5月24日(木)	平成18年度集団研修「家畜受精卵移植技術」コース 閉講式
6月 1日(金)	公開講座「地球のステージ」(於：JICA二本松)
6月 7日(木)	平成19年度協力隊 第1次隊修了式、壮行会
7月11日(水)	平成19年度協力隊 第2次隊派遣前訓練 入所式
7月29日(日)	地球体験キャラバンスペシャル2007 ←詳細はHPをご覧ください

## 平成19年度 教師海外研修募集

締切 5月21日(月)



▲Bangladeshのこどもたち



海外研修日程：平成19年8月9日(木)～8月18日(土)  
研修国：バングラデシュ



独立行政法人国際協力機構(JICA)では、この夏、小学校・中学校・高校の先生方を対象として開発途上国における国際協力の現場を視察して、学校現場に活かしてもらうための海外研修を行ないます。国際理解教育や開発教育、開発途上国の諸問題に関心をお持ちの先生方の参加をお待ちしております。今年、バングラデシュが派遣国となります。

主催：独立行政法人国際協力機構(JICA)  
担当機関：JICA二本松青年海外協力隊訓練所(JICA二本松)  
後援：外務省 文部科学省

お気軽にJICA二本松へお問い合わせ下さい!

### 編集後記

雪解けとともに「あだたら山」に数々の山菜が芽吹きはじめています。中でもタラノメはスプラウト野菜の代表格。

春の珍味を味わいに岳温泉に「こらんしょ！」(いらっしゃい)

——(ジャイ男)



タラノメ▶

### JICA二本松へのアクセス

独立行政法人国際協力機構  
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558  
福島県二本松市永田字長坂4-2  
TEL：0243-24-3200  
FAX：0243-24-3214  
E-mail：jicanjv@jica.go.jp

※皆様からのご意見等をお待ちしております。

**「入所式」**

訓練入所式の日には日本中の若者が二本松に集まる

「あだたら」行きのバスも満員である。

JICA 二本松青年海外協力隊訓練所

つられて降りたスキー客がよく取り残されている。

◆本誌、バックナンバーがご覧になれます... URL <http://www.jica.go.jp/branch/ntc/jimusho/newsletter.html>

(お問い合わせ先) 〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2 JICA二本松青年海外協力隊訓練所 TEL: 0243-24-3200 FAX: 0243-24-3214 E-mail: jicanjv@jica.go.jp

